

日本の医療機器のコード化の動向

2009. 6. 4

(財) 流通システム開発センター 黒澤康雄





(財) 流通システム開発センターとは

- ①1972年4月 設立
- ②1977年 国際標準化機関の「GS1(ジ-エスワン)」に加盟
- ③**医療業界の情報化・システム化の基盤整備の支援**
- ④**企業コードの管理・JANコードの普及推進**
- ⑤**二次元シンボル・RFID(無線タグ)の利用推進**
- ⑥**標準EDI(電子商取引)メッセージの開発・利用促進**
- ⑦**委託研究調査・広報**



医療機器業界のGS1標準化推進の歩み

	医療材料	医療機器	医療用医薬品
1998年	日医機協(現:医機連)に流開センターが委員オブザーバ参加		
1999	バーコード標準化ガイドライン → GS1を業界採用		世界比較でも早期の標準化決定
2000	運用基準マニュアル第1版	医療材料データベースの構築開始	
2001			
2002	改正薬事法施行		
2003			
2004			厚労省 医療安全対策検討会議 日本製薬団体連合会 標準化プロジェクト活動
2005	運用基準マニュアル第5版	医療機器 ガイドライン	
2006	日本歯科商工協会 → Code39表示廃止(2007年3月) → 全面切り替え(2007年4月)	二次元シンボル表示ガイドライン	2006年9月15日厚労省「バーコード表示の実施要項」発表
2008	新 運用基準マニュアル発行		2007年3月1日厚労省「バーコード表示の実施要項」の一部改正